

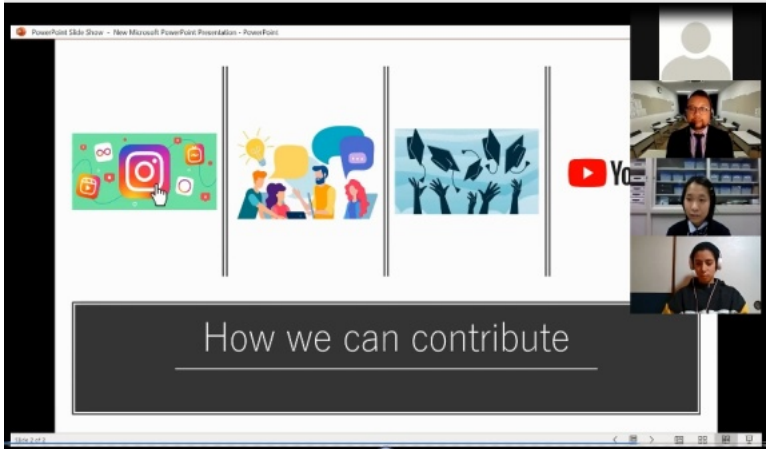
旭丘高新聞

141号
発行所
市立札幌旭丘
高等学校新聞局
札幌市中央区旭ヶ丘6丁目

作りのある
新聞のメー
校新のデー
に興味のコー
方は、ア・コ
アまで

モニター越しで体感する言葉・文化

オンライン語学研修 ～経験者は語る～



長きに亘る新型コロナウイルスの流行を鑑みて、Zoomでの実施となった昨年度のオンライン語学研修は、2021年1月5日から8日の4日間の日程で行われた。広報の末、参加を希望した62期生5名と63期生7名が自宅等からオンラインでプログラムに参加した。

昨年度の研修は全体統括者、外国人留学生の講師3名、そして12名の参加者で進められた。全体で話すだけでなく、4人程度のグループに1人の講師が付き少数人数内で意見交換をする場面も見られ、全員が積極的に英語での会話を楽しんでいた。プログラム内では、70分間のカリキュラムを1日に3回行う。SDGsやプレゼンテーションについての基礎知識を学んだ後に

「1年生の頃に市立高校国際理解ワークショップ『サークル・ザ・ワールド』に参加して、国際理解活動に取り組みなかった」と語る。英語を話すことに対して抵抗はなかったのか、という質問に対しては、「英語を話すだけが語学研修ではなく、その中で異文化に触れたり、外国の慣習を知ったりすることも目的だと思っていました。なので、英語を話せないから参加出来ない、とは思わなかったです」と熱意を覗かせた。

また、中原さんは今後オンライン語学研修に参加しようという生徒へ「今は海外に直接行くことが出来なけれど、英語を話す練習をしたい、留学は出来なくても異文化体験がしたい、という気持ちとやる気があれば楽しめると思います。もし上手く話せなくても、講師の方々が上手くフォローしてしてくれるので大丈夫ですよ」と鼓舞するメッセージを送った。

なお、今年度のオンライン語学研修は2022年1月5日から8日の4日間で実施される。少しでも興味がある生徒は、募集を待つて参加してみようだろうか。英語の上達だけでなく、中原さんの語る「異文化体験」が待っているはずだ。

旭丘高校では、例年は札幌市立高校共通のプログラムによるポーランド市の生徒との交流と、本校独自のプログラムによるアトランタ姉妹校交流が行われている。そんな国際交流も昨年度はコロナウイルス拡大の影響でオンラインでの開催となった。前者は、年に1度、札幌市と姉妹都市のアメリカオレゴン州ポーランド市にあるGrant High School から、日本語学習者の高校生を迎える交流だ。そして後者は、アメリカジョー



↑野幌森林公園の近くに位置する啓成高校

6月19日、我が校の新聞局は札幌啓成高校新聞局と共に北海道新聞社(以下、道新)で開かれたNIE全国大会に伴う講習会に参加した。講習会の中では、道新で働く社員の方々に取材の仕方や、記事の構成、写真の撮り方などの貴重な話を伺った。その後、その学びを活かして両高校で双方向のインタビューを行った。

啓成高校新聞局は3年生1人、2年生4人、1年生4人の計9名で活動している。啓成高校では「本誌」と呼ばれる新聞を夏・冬・卒業・入学の年4回、印刷所と打ち合わせをしながら発行し、「速報」と呼ばれる号を月1回を目標として学校で発行している。今年に入り、1年生が加わった新体制で既に1回発行している。目下、夏号を制作している途中だとい

間を過ごした。また、授業や旭丘祭にも参加し、旭丘祭ではステージ発表も企画した。2018年に行われた姉妹校交流では、旭丘の生徒が9日間の日程でHIES校での生活はもちろん、休日には買い物やパーティーに参加したり、市内の様々な観光名所を訪れたりもした。また、本校の国際交流に関する展示ケースが職員室前に展示されているので是非チェックしていただきたい。

会にも出場したい」と語った。啓成高新聞局の日頃の活動の様子を探るため、局員の1年生の1人である、川上紗蘭さんに入局してから感じたことや雰囲気を感じた。局の雰囲気は明るくて、話好きな人が多く、とても楽しく活動できている。3年生の先輩はコミュニケーション能力が高く、凄いなと思います」と語った。

また、川上さんは最近でも印象に残っている出来事として、宿泊研修の代替として行われたレクリエーションについての取材を挙げた。「初めての取材で緊張しましたが、顧問の先生のサポートもあって無事に終えることができました。先生の質問する様子を見て、取材の時は答えを覚えて話していくことが大切だと学ばました」と話

NIE全国大会に向けて

啓成高校と共に

シア州アトランタ市 Holy Innocents' Episcopal School (通称HIES)との姉妹校交流である。本校はこの高校と2002年から姉妹校にあり、2年に1度お互いの学校を訪問し、地域の文化や言語を身をもって体験することが出来る。2017年にHIESの訪問団が本校に来校した際は、ウェルカムパーティーが開かれ、ホストファミリーとなった本校生徒や保護者の方々と楽しい時

間を過ごした。また、授業や旭丘祭にも参加し、旭丘祭ではステージ発表も企画した。2018年に行われた姉妹校交流では、旭丘の生徒が9日間の日程でHIES校での生活はもちろん、休日には買い物やパーティーに参加したり、市内の様々な観光名所を訪れたりもした。また、本校の国際交流に関する展示ケースが職員室前に展示されているので是非チェックしていただきたい。



一昨年のHIES来校の様子

局説

コロナワクチン ウソ? ホント?

情報との付き合い方とは

新型コロナウイルスワクチンの接種を2回とも終えたという人は、7月18日時点で17・25%であるという。優先的に摂取されている高齢者の人口割合が28・1%であることを考えると、接種はまだ進んでいないように見える。原因は、ワクチンの不足以外にもあるのではないかと。6月24日、新型コロナウイルスワクチン接種担当大臣である河野太郎氏の公式サイトにて、ワクチンデマに関する呼びかけがされた。ワクチンを接種すると不妊になる、遺伝子が組み替えられる、長期的な安全性がわかっていない…よく耳にするこのような噂は、全てデマであると言われている。これらはワ

クチン接種の不安を煽るようなものばかりであり、実際にデマを信じて接種を避けたり、直前にキャンセルをする人は多いという。ワクチンの接種は、現在の不自由な生活から脱するためには希望の光だ。デマや印象操作に振り回されてその光を無駄にしないために、まずは私たちがワクチンを正しく理解する必要がある。そこで私たち局員は、ワクチンに関する情報を政府公認ホームページなどの信頼できるサイトから収集し、表にまとめてみた。自身や知り合いのワクチン接種に不安のある人は参考にしてほしい。また、ワクチン関連の噂を聞いた時はそのまま広めるのではなく、まず政府の発表を調べ、真偽を確認することが重要だ。一刻も早くマスクの要らない生活を取り戻すためにも、情報には慎重になるべきである。

旭丘事件簿

～ 購入から消えたお弁当の行方～



5月28日に起きたことを、皆さんは覚えているだろうか。その日、お弁当が購入から姿を消したのである。今回はその事件の真相を知るために、購買の方

に聞き込みを行った。それは、「お弁当屋さんの家族に濃厚接触者が出た」という連絡から始まった。(お弁当屋さんはPCR検査の結果、陰性だった)。その日、弁当を頼んでいた生徒は30人以上いたという。弁当がなければパンを食べれば良いと思うかもしれないが、コロナウイルスの影響で普段からパンの仕入れを少なくしており、それに加え、その日はパンの購入者も多かったため、パンの在庫はとも少なくなってしまうというのだ。このままではパンの数が足りないと思いついた購買の高橋さんは、出勤途中の秋原さんと話し合い、平岸高校と札幌南高校からパンを分けてもらおうと考えた。

しかし、二つの高校からパンを受け取り、車で輸送中、ガオカマでもう少しのところで車が故障してしまった。

購買の方がお礼を言うために、配達員の方に名前を尋ねたところ、「そんなの全然気にしないでください!」と爽やかに去っていった。

ギスギスした空気が続いているコロナ禍で、他高校やクロネコヤマトの配達員の方の優しい気遣いに心温まるエピソードだった。

てしまったのだ。為す術もなく昼食時間が迫る中、もうだめかと思ったその時、救世主が現れた。なんと、クロネコヤマトの配達員の方が代わりにパンを届けてくれるといったのだ。昼食時間の3分前のところで配達員の方のおかげでパンが学校に無事届けられ、生徒の昼食は守られたのだ。ちなみに、故障してしまった車はどうなったかというところ、配達員の方が親切に学校まで押してくださった。

プロが学ぶ新聞の極意!

新聞局員 支部総会・研究会に参加

7月17日、高文連石狩支部新聞部第1回総会・研究会が開かれ、我が校の局員17名を含む、13校81名の新聞部局員が参加した。会場は中島公園駅近くのホテルライフォート。この総会・研究会は、高校間の交流、各校の新聞作成能力の向上・支部活動の活性化が目的である。

昨年は新型コロナウイルスの影響でZoomでの開催となっ

たが、今年は2年ぶりに新型コロナウイルス感染症や熱中症に留意しながら、対面で行われた。それに伴い、当番校であった本校は、司会や受付に加え、感染症対策として参加者の体温測定も請け負うこととなった。

総会では各校の活動報告や全道大会の役割分担がなされ、本校は今年度の石狩支部の議長校に立候補し任命。今大会の目玉

である研究会では、北海道新聞社企画室CSR推進担当の渡辺多美江さんによる学校新聞作り講習が行われた。今回のテーマは「新聞は真【心】文書実が大事、そして愛なんだ」である。講習では、プロの新聞作りのノウハウを聞くだけでなく、他校の生徒とペアになって写真を撮り合ったり、見出しを考えたりして評価し合う実習を交えたものだった。初めは顔を合わせたことのない相手との交流に戸惑う人も多かったが、次第に打ち解け、終盤になると会場には所々で会話や笑い声が聞こえた。渡辺多美江さんは新聞を作るにあたり、「誰もが発信者になるこ



見出しについて熱く語る渡辺氏

編集後記

夏休みが直前に迫ってしましたね。私は課題を早く終わらせて、憧れのキラキラした夏を過ごせるように頑張ります。

(佐藤 直美)

最近暑い日が続く、旭丘の坂がさらに辛く感じます。今夏は購買のポカリスエットとお友達になりました。売り切れないで…

(佐藤 結衣子)

最近暑いですね。下宿にはクーラーも扇風機も無いので僕はいつもヘトヘトです。最近ハンディファンを買おうか検討中…

(平山 陽輝)

8組所属の松崎です。8組と聞いて同情して下さい。暑いです(泣)。ハンディファン君には感謝しかありません。これからもよろしく。

(松崎 芽生)

暑い中書き直しの連続で何度もヘコみましたが、先輩も引退間際なので踏ん張りしました。1年次が多くて嬉しい。

(権瓶 春菜)

とうとう引退です。啓明ターミナルまでの坂を局員たちで話しながら下るのがひそかな楽しみでした。

(西田 果乃子)

引退…。可愛くてギャグセンスの高い後輩たちに囲まれてとても幸せな局員生活でした!

(北村 はな乃)

3年間、無我夢中で走ってききましたがまだ馬鹿騒ぎしなかったですね。全道も行きたかったです! 帯広で豚丼食べたい!

(和泉 水萌)

第141号編集長

吉田 由樹伯